

令和元年度農業青年組織等活動活性化事業  
(地域青年農業者グループ活動活性化助成)

事業主体名 飛翔クラブ

1 目的

伝統野菜「国分大根」は、一般的な青首大根に無い独特な特性がありますが、①生産性が低い、②一般消費者向きでない(大きすぎる)、③自家採種が必要なこと等から、営利生産農家は無く、現在は、飛翔クラブでのみ、遺伝資源保存活動(採種)に取り組んでいません。

このため、国分大根の魅力や遺伝資源保存活動を、地元高校や地域コミュニティ(教育機関や福祉施設等の営利目的を重視しない団体等)に継承することで『国分大根=地域に根付いた伝統大根』という位置づけの確立を図りました。

鹿児島大学附属実験農場、始良・伊佐地域振興局農政普及課等のアドバイスや協力を受け、地元の国分中央高校や福祉施設(株)UNITYと共同して活動しました。

2 実施状況

(1) 国分大根の魅力の考える・確認する！

鹿児島大学農学部附属実験農場や、国分中央高校実験ほ場で、生徒と一緒に、鹿児島県の伝統大根の食味官能調査等を実施し、国分大根の魅力について確認しました。



食味官能試験の様子  
(鹿児島大学農学部附属実験農場)

(2) 国分大根の魅力を伝える！

地元の伝統野菜として、ファーマーズマーケット(R1.11.30 ~ 12.1:ドルフィンポート)でのPR販売や地元の学校給食の献立の一部に使ってもらいました。

(3) 国分大根を地元コミュニティへ伝える！

国分中央高校に採種用個体の選抜方法を指導し、交流を深め、国分大根の遺伝資源保存活動を国分中央高校の生徒の研究課題に取り入れてもらいました。

また、地元福祉施設(株)UNITYに採種用株を提供し(選抜個体を鉢に移植して譲渡)、今後の国分大根の遺伝資源保存活動に参加してもらうことになりました。



採種方法検討会  
(国分中央高校ほ場)

(4) 採種方法を改善する！

鹿児島大学農学部附属実験農場の先生を交え、国分中央高校の実験農場で採種用個体の選抜方法について検討しました。

飛翔クラブの採種ほ場に防虫ネットを新設しました(交配用のヒロズキンバエの活用も試行しています)。



飛翔クラブ採種用ほ場  
(防虫ネットで被服)

3 今後の課題、取り組み

(1) 活動の継続

今後3年をめぐりに、国分大根のPRや地域への遺伝資源保存活動を継続する必要があります。

(2) 効率的な採種方法の確立

栽培方法等の地域への指導と併せて、効率的且つ、揃いを改善するために、大学等の研究機関や、伝統作物生産者等の有識者から情報を収集し、採種技術を向上(改善)する必要があります。



採種用選抜株  
(福祉施設へ譲渡)